

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ゴージャー スープロ エム・エー・エックス
会社名	ゴージャージャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田 1-6-6 MIFビル 3F
電話番号	03-5280-4807
緊急時の電話番号	03-5280-4807
FAX番号	03-5280-4843
推奨用途	ハンドソープ
使用上の制限	推奨用途以外の使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類基準に該当しない。
GHSラベル要素	GHS分類基準に該当しない。
その他の危険有害性情報	知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名	政令名称 (化管法)	CAS番号	官報公示整理番号		化管法 管理番号	含有量 (w/w%)
			化審法	安衛法		
(C11-15)アルカン／ シクロアルカン	—	64742-47-8	—	—	—	≥10・<20 *
ラウレス硫酸ナトリ ウム	ポリ（オキシエチレン）＝ ドデシルエーテル硫酸エス テルナトリウム	68585-34-2	7-155	—	409	5.9%
コカミドプロピルベ タイン	〔（3-アルカンアミドプロ ピル）（ジメチル）アン モニオ〕アセタート（アル カンの構造が直鎖であり、 かつ、当該アルカンの炭素 数が8、10、12、1 4、16又は18のもの及 びその混合物に限る。）及 び（Z）－〔〔3-（オク タデカ-9-エンアミド） プロピル〕（ジメチル）ア ンモニオ〕アセタート並び にこれらの混合物	61789-40-0	2-1290, 2-2707, 9-2027	—	574	3.2%
酸化チタン (CI 77891)	—	13463-67-7	1-558	2-(3)-509	—	≥0.1・<1.0*

*営業上の秘密に該当

4. 応急措置	
一般的なアドバイス	事故の場合や、気分が悪いときは、直ちに医者の診察を受ける。 症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の診察を受ける。
吸入した場合	吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動する。 症状が継続する場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	刺激があり継続する場合は医師の診察を受けること。
眼に入った場合	多量の水で眼とまぶたをよく洗い流す。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 刺激があり継続する場合には医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、無理に吐かせない。 水で口をすすぐ。 医療処置を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	知見なし。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている保護具を着用すること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤または二酸化炭素を使用する。
使ってはならない消火剤	知見なし。
有害燃焼副産物 特有の消火方法	炭素酸化物、硫黄酸化物、金属酸化物、窒素酸化物(NO _x)、塩素化合物 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 未開封の容器を冷却するためには、水を噴霧する。 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。 火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
消火活動を行う者の特別な保護具	火災の際は自給式呼吸器及び全身保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護具を使用する。 十分な換気を確保する。 周囲の人を安全な場所に避難させる。 漏出物質により滑りやすい状態となる可能性がある。
環境に対する注意事項	環境への放出は必ず避けなければならない。 安全を確認してから、更なる漏れやこぼれを防ぐ。 広範囲への拡散を防ぐ（封じ込める又はオイルバリアを使用する等）。 汚染された洗いを保持し、処理する。 流出が著しくて回収できない場合は、地方自治体に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出を封じ込め、不燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して回収し、各国及び地域の規則に従い容器に入れて廃棄する（項目 13 を参照）。 廃棄に備え適切な密閉容器に保管する。 環境に関する規制に従い、汚染された床及び物を完全に清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

保護具については項目 8 を参照すること。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
使用しない場合には容器を閉めて保管する。

保管

安全な保管条件

適切な表示をした容器に保管する。
乾燥した涼しい換気のよい場所で、容器を密閉して保管する。
各国の規定に従って保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

作業環境における許容暴露濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	64742-47-8	TWA (mist)	5 mg/m ³	OSHA Table Z-1
		TWA	200 mg/m ³ (総炭素水素蒸気として)	ACGIH
		TWA (mist)	5 mg/m ³	NIOSH REL
		STEL (mist)	10 mg/m ³	NIOSH REL
酸化チタン(CI 77891)	13463-67-7	TWA (total dust)	15 mg/m ³	OSHA Table Z-1
		TWA	10 mg/m ³ (酸化チタン)	ACGIH

TWA: Time Weighted Average (時間加重平均値)

STEL: Short Term Exposure Limit (短時間曝露限界値)

OSHA: Occupational Safety and Health Administration (米国労働安全衛生庁)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists (米国産業衛生専門家会議)

NIOSH REL: Recommended exposure limit of National Institute for Occupational Safety and Health ((米)国立労働安全衛生研究所).

保護具

呼吸用保護具

通常、呼吸用保護具は必要としない。

眼及び顔面の保護具

特別な保護具は必要としない。

皮膚及び身体の保護具

通常と異なる作業においては、フェイスシールド及び保護具を着用する。

保護対策

危険物質の種類、濃度や量及び作業場の特性を考慮し、適した保護具を選択すること。

特別な注意事項

労働安全衛生法に従って取扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体（スクラブ入り）
色	透明～黄褐色
臭い	フローラルな香り
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点／凝固点	5.5 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲	94 °C
可燃性	データなし
爆発上限及び爆発下限／可燃限界	データなし
引火点	>100 °C（ペンスキーマルテンス密閉式）
自然発火点	データなし
分解温度	非該当（本製品はGHS分類の自己反応性化学品に分類されない。）
pH	4.5 – 8.0 (20 °C)
動粘性率	12,000 – 40,000 mm ² /s（20 °C）
溶解度	可溶性（水溶性）
n-オクタノール／水分配係数（log値）	非該当
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
密度	1,02 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
粒子特性	非該当
爆発特性	非爆発性
酸化特性	非該当（本製品はGHS分類の酸化性液体には分類されない。）

10. 安定性及び反応性

反応性	反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	知見なし。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物の知見はない。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報	吸入した場合。皮膚に付着した場合。眼に入った場合。
---------------	---------------------------

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

製品	試験方法	結果
急性毒性（経口）	計算法	急性毒性推定：>5,000 mg/kg

成分	種	試験条件	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン			
急性毒性（経口）	ラット	-	LD50: >5,000 mg/kg
急性毒性（吸入）	ラット	曝露時間：4時間 試験環境：ダスト/噴霧 備考：同類の材料のデータに基づく	LC50: >5.3mg/L アセスメント：この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
急性毒性（経皮）	ウサギ	-	LD50: >3,160 mg/kg アセスメント：この物質または混合物は急性の経皮毒性は無い。

ラウレス硫酸ナトリウム			
急性毒性（経口）	ラット	-	LD50: >2,000 mg/kg アセスメント：この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。
ココミドプロピルベタイン			
急性毒性（経口）	-	方法：OECDガイドライン401 備考：同類の材料によるデータに基づく	LD50: >5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ラット	方法：OECDガイドライン402 備考：同類の材料によるデータに基づく	LD50: >2,000 mg/kg アセスメント：この物質または混合物は急性の経皮毒性は無い。
酸化チタン(CI 77891)			
急性毒性（経口）	ラット	-	LD50: >5,000 mg/kg
急性毒性（吸入）	ラット	曝露時間：4時間 試験環境：ダスト/噴霧	LC50: >6.82 mg/L アセスメント：この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

LD50: Lethal Dose 50(半数致死量)、LC50: Lethal Concentration 50 (半数致死濃度)

皮膚腐食性／刺激性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

製品	結果：皮膚刺激なし アセスメント：ヒトの皮膚に塗布した時、皮膚刺激は無い。
----	--

成分	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	アセスメント：繰り返し曝露することで皮膚の乾燥やひび割れの原因となり得る。
ラウレス硫酸ナトリウム	皮膚刺激性
ココミドプロピルベタイン	皮膚刺激性
酸化チタン(CI 77891)	皮膚刺激なし（試験種：ウサギ）

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	ウサギ	眼刺激なし
ラウレス硫酸ナトリウム	-	眼への刺激 備考：重度の眼刺激
ココミドプロピルベタイン	-	眼への刺激 備考：重度の眼刺激
酸化チタン(CI 77891)	ウサギ	眼刺激なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	試験タイプ	曝露の主経路	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	モルモット	最大化試験 (GPMT) 備考：同類の材料によるデータに基づく	皮膚に付着した場合	陰性
ココミドプロピルベタイン	モルモット	最大化試験 (GPMT) 備考：同類の材料によるデータに基づく	皮膚に付着した場合	陰性
酸化チタン(CI 77891)	マウス	局所リンパ節アッセイ (LLNA)	皮膚に付着した場合	陰性

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	試験方法	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン		
in vitroでの遺伝毒性	試験タイプ：微生物復帰突然変異試験（AMES）	陰性
in vivoでの遺伝毒性	試験タイプ：染色体異常 種：ラット 投与経路：腹腔内注射 備考：同類の材料によるデータに基づく	陰性
コカミドプロピルベタイン		
in vitroでの遺伝毒性	試験タイプ：微生物復帰突然変異試験（AMES） 方法：OECD 試験ガイドライン 471 備考：同類の材料によるデータに基づく	陰性
in vivoでの遺伝毒性	試験タイプ：哺乳動物赤血球小核試験（in vivo細胞毒性試験） 種：マウス 投与経路：飲み込んだ場合 備考：同類の材料によるデータに基づく	陰性
酸化チタン(CI 77891)		
in vitroでの遺伝毒性	試験タイプ：微生物復帰突然変異試験（AMES）	陰性
in vivoでの遺伝毒性	試験タイプ：in vivo小核試験 種：マウス	陰性

発がん性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	試験方法	投与経路	結果
酸化チタン(CI 77891)	ラット	OECDガイド ライン453	吸入 (ダスト/噴 霧/蒸気)	陽性 備考：作用機序を鑑みると人体に影響しない可能性がある。 この物質は製剤中で強く結合しており、ダスト吸入の危険性には寄与しない。

製品	
関連機関	アセスメント
IARC	酸化チタン(CI 77891) / CAS No. 13463-67-7: グループ2B: ヒトに対する発がん性物質である可能性がある。
OSHA	OSHAにより、発がん物質として、又はその可能性があるとして確認された成分は、本製品に0.1%以上含有していない。
NTP	NTPにより、発がん物質として知られている、又はそう予測されるとして確認された成分は、本製品に0.1%以上含有していない。

IARC: International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)

OSHA: Occupational Safety and Health Administration (米国労働安全衛生庁)

NTP: National Toxicology Program (米国国家毒性プログラム)

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	試験タイプ	投与経路	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン				
妊婦に対する影響	ラット	一世代生殖毒性試験 備考：同類の材料のデータに基づく	飲み込んだ場合	陰性
胎児への影響	ラット	受精卵および胎児発育	飲み込んだ場合	陰性
コカミドプロピルベタイン				
胎児の発育への影響	ラット	受精卵および胎児発育 方法：OECDガイドライン414 備考：同類の材料によるデータに基づく	飲み込んだ場合	陰性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

反復投与毒性

成分	種	試験方法	曝露時間	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	ラット	投与経路：吸入(蒸気)	90日間	NOAEL: >10.4 mg/L 備考：同類の材料のデータに基づく
コカミドプロピルベタイン	ラット	OECDガイドライン408 投与経路：飲み込んだ場合 備考：同類の材料によるデータに基づく	90日間	NOAEL: 250 mg/kg
酸化チタン(CI 77891)	ラット	投与経路：飲み込んだ場合	-	NOAEL: 24,000 mg/kg
	ラット	投与経路：吸入(ダスト/噴霧/蒸気)	2年間	NOAEL: 10 mg/m ³ 備考：この物質は製剤中で強く結合しており、ダスト吸入の危険性には寄与しない。

NOAEL: No Observed Adverse Effect Level (無毒性量)

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	アセスメント
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	この物質または混合物はヒトに対し吸引毒性の危険性があることが知られている、あるいはそう見なすべきである。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分	試験種、試験方法等	曝露時間	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン			
魚毒性	Danio rerio (zebra fish) (ゼブラフィッシュ) 被験物質：水性画分 OECDガイドライン 203	96時間	LL50: >250 mg/L
ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性	Acartia tonsa (アカルチア) 被験物質：水性画分	48時間	EL50: >3,193 mg/L
藻類に対する毒性	Skeletonema costatum (marine diatom) (海洋珪藻) 被験物質：水性画分	72時間	EL50: >3,200 mg/L NOELR: 993 mg/L
ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 (慢性毒性)	Ceriodaphnia Dubia (water flea) (ミジンコ) 被験物質：水性画分	8日間	NOELR: > 70 mg/L
細菌に対する毒性	-	3時間	EC50: >100 mg/L
コカミドプロピルベタイン			
魚毒性	ISO (国際標準化機構) 7346/2 備考：同類の材料によるデータに 基づく	96時間	LC50: > 1 - 10 mg/L
細菌に対する毒性	OECDガイドライン209 備考：同類の材料によるデータに 基づく	-	EC50: >100 mg/L
酸化チタン(CI 77891)			
魚毒性	Oncorhynchus mykiss (rainbow trout) (ニジマス) OECDガイドライン 203	96時間	LC50: >100 mg/L
ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性	Daphnia magna (water flea)	48時間	EC50: > 100 mg/L
藻類に対する毒性	Skeletonema costatum (marine diatom) (海洋珪藻)	72時間	EC50: > 10,000 mg/L
細菌に対する毒性	OECDガイドライン 209	3時間	EC50: >1,000 mg/L

LC50: Median Lethal Concentration (半数致死濃度)

EC50: Median Effect Concentration (半数阻害濃度)

LL50: Median Lethal Loading Rate (半数致死負荷率)

EL50: Median Effective Loading Rate (半数成長阻害負荷率)

NOELR: No Observable Effect Loading Rate (最大無影響負荷率)

残留性・分解性

成分	試験方法	生分解	曝露 時間	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	OECDガイドライン 301F	82%	24日間	易分解性
ラウレス硫酸ナトリウム	-	-	-	易分解性
コカミドプロピルベタイン	OECEガイドライン 301 備考：同類の材料による データに基づく	>60 %	28日間	易分解性

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし

製品	
規制	規制への該当性
40 連邦行政規則 (CFR) ; Part 82 成層圏オゾン保護・大気汚染防止法 (CAA) Section 602 のクラス I 物質に関する規制	本製品は、米国の大気汚染防止法(CAA) Section 602 (40 CFR 82, Subpt. A, App.A + B) により規定されたクラスI 又はクラスIIのオゾン層破壊物質 (ODS) を含有せず、製造時もそれらを使用していない。

他の有害影響 データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	廃棄においては、地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装の廃棄に関する情報	製品入り容器と同様に処分する。 空の容器は、認可を受けた廃棄物処理業者に委託し、リサイクルまたは廃棄を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA-DGR (国際航空運送協会・危険物規則書) : 危険物として規制されていない。

IMDG Code (国際海上危険物規則) : 危険物として規制されていない。

国内規制 : 危険物として規制されていない。

15. 適用法令

化管法 (化学物質排出把握管理促進法)	ラウレス硫酸ナトリウム (第1種指定化学物質) コカミドプロピルベタイン (第1種指定化学物質)
---------------------	---

安衛法 (労働安全衛生法)

通知対象物質	(C11-15)アルカン/シクロアルカン 酸化チタン
--------	-------------------------------

表示対象物質	(C11-15)アルカン/シクロアルカン
--------	----------------------

有機溶剤中毒予防規則	(C11-15)アルカン/シクロアルカン (第3種有機溶剤)
------------	--------------------------------

毒物及び劇物取締法	非該当
-----------	-----

化審法 (化学物質審査規制法)

優先評価化学物質：生態影響	ラウレス硫酸ナトリウム コカミドプロピルベタイン
---------------	-----------------------------

消防法	非該当
-----	-----

船舶安全法・危規則	非該当
-----------	-----

航空法・施行規則	非該当
----------	-----

火薬類取締法	非該当
--------	-----

高圧ガス保安法	非該当
---------	-----

海洋汚染防止法	非該当
---------	-----

16. その他の情報

本SDSの記載内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づき、当該製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものであり、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、本SDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、推奨用途以外の使用方法や、指定されていない材料との組み合わせにおける使用に関しては有効ではありません。